

国土交通大臣 太田 昭宏 様  
九州地方整備局長 岩崎 泰彦 様  
立野ダム工事事務所長 島本 卓三 様

立野ダムによらない自然と生活を守る会 代表 中島 康  
立野ダムによらない白川の治水を考える熊本市議の会 代表 田上辰也  
ダムによらない治水・利水を考える県議の会 代表 平野みどり  
代表連絡先 熊本市西区島崎4丁目5-13 中島康  
電話 090-2505-3880 FAX 096-354-2966

## 立野ダム事業の説明責任を求める要望書

国土交通省九州地方整備局は5月20日、立野ダム建設工事で今年11月に仮排水路トンネルの掘削工事に着手することを明らかにしたことに對し、私たちは6月4日に抗議文を提出しました。同抗議文の中で、立野ダム事業に関する説明会開催を要望したにもかかわらず、貴省は説明会を全く開こうとはしません。

一方では、白川流域4市町村（熊本市、菊陽町、大津町、南阿蘇村）でつくる「白川改修・立野ダム建設促進期成会」が7月30日、国土交通省に對し立野ダム本体工事の早期着工を求める要望書を提出しています。事業者である貴省が住民に對し説明責任を果たしていない状況のまま、事業促進の要望を繰り返す地元自治体に對し、本日抗議文を提出したところです。

立野ダムの総事業費は、当初予算の2倍以上の917億円に膨れ上がり、熊本県の負担額は917億円の3割、275億円（県民一人あたり約1万5000円）にもなります。公共事業は本来、住民の税金により、住民のために行われるべきものです。ところが、白川流域に住む多くの人たちは、「立野ダムはどんなダムで、何を目的につくられるのか、どこにできるのか聞いていない」という実情です。このような現状にもかかわらず、国土交通省は、住民が要望している立野ダムの説明会を開催しようとしません。「ダムによらない治水・利水を考える県議の会」が国土交通省に説明を求めた集会さえも、同省は出席を拒否しました。さらには、住民団体が繰り返し提出した立野ダムに関する質問状にさえ真摯に回答しようせず、「当省のホームページを見るように」との見解を繰り返すばかりです。国土交通省は住民に對し、立野ダムについての説明責任を果たしているとはとても言えません。

立野ダム事業が多くの問題を抱えている点は、これまで何度も提出しました要望書等で述べたとおりです。立野ダム事業についての説明責任が全く果たされていない状況の中、今年11月に仮排水路トンネルの掘削工事に着手することを明らかにしたことに對し再度抗議するとともに、下記2点について再度、強く要請します。

### 記

1. 白川流域の市町村ごと、熊本市にあっては白川沿いの中学校区ごとに立野ダム事業に関する説明会を開催すること。その際、住民の質問については真摯に回答し、住民の意見を十分に聞くこと。
2. 上記説明会が開催され、国土交通省が立野ダム事業についての説明責任を果たすまでは、立野ダムの転流工事（仮排水路トンネル工事）に着工しないこと。

以上